

第10回 鋼構造技術継承講演会

～経験豊富な先人に学ぶ次世代への承継技術～



行事コード：252104 略称：10回鋼構造技術継承

先人の多大な努力により建設・管理がなされてきた多くの鋼構造物は、持続可能な社会を実現するための重要な構造物として、今後もその役割を担い続けていきます。また、切迫する巨大地震や激甚化・頻発化する気象災害に対して安全・安心な社会を作り上げるための国土強靱化、構造物の高齢化に対する適切な維持管理や長寿命化など、近年の鋼構造物に対する要求は多様化、高度化しています。今後、このような多様な性能が求められる鋼構造物を建設・維持管理していくためには、先人が培ってきた鋼構造物の歴史や計画、設計、施工、維持管理などの研究・技術への理解を深め、それらを活かして鋼構造の技術の発展につなげていくことが重要であると考えます。

本講演会では、毎回、大先輩の技術者、研究者の方々に、研究面および技術面における豊富な経験を、現役および次世代を担う技術者、研究者の方々に技術伝承するためのご講演をさせていただいております。

記念すべき第10回となる今年度は、風や地震などによる橋梁の振動やその制御技術、モニタリング技術に関する教育・研究に長年携わられてこられた藤野陽三氏(城西大学学長、東京大学名誉教授、横浜国立大学名誉教授)に「橋梁等構造物の振動制御およびモニタリング技術の発展と「構造制御学」の確立」と題するご講演を、国土交通省国土技術政策総合研究所や国立研究開発法人土木研究所などにおいて橋梁の維持管理や長寿命化を実現するための技術開発などに長年携わられてこられた西川和廣氏(土木研究所前理事長)に「道路橋長寿命化の提唱と、その実現のための技術開発および点検・診断技術の普及への貢献」と題するご講演をそれぞれいただく予定です。

両氏のご講演は、現在の鋼構造物が直面している課題の解決に大きく役立つことでしょう。参加費は無料です。多くの皆様、特に若手技術者、大学生、大学院生の参加をお待ちしています。

- ・主 催：土木学会（担当：鋼構造委員会）
- ・日 時：2022年12月13日（火） 14：00～17：00
- ・開催形式

(1) 土木学会講堂（〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内）

(2) オンライン（ZOOM ウェビナーによるライブ配信）

※土木学会講堂での聴講のほか、オンラインでの聴講も可能です。いずれかの方法を選択してお申込みください。

※新型コロナウイルス感染症に関する国内動向によってはオンライン聴講のみとし、土木学会講堂での聴講を取りやめる可能性があります。あらかじめご了承ください。

- ・定 員
- (1) 土木学会講堂（申込先着順で30名まで）
- (2) オンライン（申込先着順で500名まで）

・参加費：無料

・申込締切日：2022年12月11日（日）

・参加申込

参加をご希望される方は、以下のサイトからお申込みください。締切日以降の受付はいたしません。

<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

※会場参加とオンライン参加で申込区分が分かれておりますのでご注意ください。

※オンライン参加の方の視聴用の URL 等は、ご登録いただきましたメールアドレス宛に開催日前日にメールにて連絡予定です。

<お問合せ先>

土木学会事務局 研究事業課 桃井

メール：[momoi_“at”_jsce.or.jp](mailto:momoi_at_jsce.or.jp) “at” を@に変更してメールして下さい。

・詳細（プログラム）

14:00~14:05 鋼構造委員会委員長挨拶

14:05~15:25 藤野陽三氏：「(仮) 橋梁等構造物の振動制御およびモニタリング技術の発展と
「構造制御学」の確立」

15:25~15:35 休憩

15:35~16:55 西川和廣氏：「(仮) 道路橋長寿命化の提唱と、その実現のための技術開発および
点検・診断技術の普及への貢献」

16:55~17:00 鋼構造委員会副委員長挨拶

*本講演会は CPD 認定プログラムです (JSCE22-1004, 2.7 単位)

CPD の取得には行事への事前申込かつ事後設問の回答が必須になります。

●各 CPD システム利用者への対応について

・土木学会 CPD システム利用者様：

参加者ご自身による CPD システムへの「自己登録」をお願いいたします。

・建設系 CPD 協議会加盟団体 CPD システム利用者様：

各団体のルールに沿って、CPD 単位の申請をお願いいたします。

※土木学会以外の団体に提出する場合の方法等は提出先団体に事前にご確認ください。

土木学会で証明する単位が各団体のルールにより認められないことがあります。

土木学会では他団体の運営する CPD 制度に関しては回答いたしかねます。